

【申込について】

対象：持続可能な地域づくりに関心がある、高校生・大学生などユースの方
(受講希望者多数の場合は、高校生を優先した上で抽選)

定員：各地域30名程度

認定：2日間のプログラムを修了した方に
「サステナビリティオーガナイザー（持続可能地域士）ユース」を認定します。

持参物：筆記用具

受講料：30歳までの学生・社会人は無料(31歳以上で2日間参加の場合は3,000円、1日のみは1,500円を当日支払)
※会場までは各自でお越しください。(交通費は自己負担となります)

【申込期間】 2019年6月26日(水)～8月7日(水)

【高校：申込先・問い合わせ】

申込は、別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、環境政策課 担当(有本、千家)まで E-mail 又は FAX で送付して下さい。また、参加決定の連絡はいたしませんので、1日目のガイダンスまでに会場にお越し下さい。申込者多数により参加いただけない場合のみ当課から連絡します。

兵庫県 農政環境部 環境創造局 環境政策課 (担当：有本、千家)

TEL：078-362-9895,4421 FAX：078-362-4024 E-mail：akiko_arimoto@pref.hyogo.lg.jp
hiroyuki_senge@pref.hyogo.lg.jp

高校生の方へ

お申込みご希望の高校生は、このプログラムの担当の先生へお問い合わせください。

ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)とは

地域において、持続可能な地域づくりおよび地域課題の解決を進める担い手として、自ら事業・取り組みを立案、推進を行う「人材」及び「チーム」の持続的な育成に寄与することを目指し、活動を行っています。
全国3地区の1つとして、環境省の平成27・28年度「持続的な地域創生を推進する人材育成拠点形成モデル事業」の採択を契機に、兵庫県・兵庫県立大学・地域自治体や事業パートナーである金融機関等とともに機構を設立し、実施しています。

【これまでの活動】

- ・第1期～第4期受講 計：129名+法人2団体
- ・サステナビリティオーガナイザー(持続可能地域士)：計34名
- ・サステナビリティオーガナイザー(持続可能地域士)・ユース：計33名

詳しくは、機構(HsO)HP：<http://hso-t.com/>で

ひょうご HsO

申込書(一般)

一般の方へ

お申込みご希望の一般の方は、下記ご記入いただき、下記 E-mail 又は FAX でご送付、もしくは下記申込フォームからお申込みお願いいたします。▶申込フォーム：<https://forms.gle/RAXgQVv8AzFqrtFb7>

QRコードからでも申込フォームへ進めます▶



【一般：申込先・問い合わせ】

ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)(事務局：一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所(Hsl)) 担当：中川、霜倉
豊岡：〒668-0032 兵庫県豊岡市千代田町9-10

大阪：〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F (株)地域計画建築研究所(アルパック)内

E-mail: office@hso-t.com Tel: 06-6205-3600 FAX: 06-6205-3601 <http://hso-t.com/>

※各地域で1日のみのご参加の場合は、備考欄にその日付をご記入ください。2日間ご参加の場合は空欄のままで結構です。

ふりがな				
氏名	所属団体名			
連絡先(E-mail)	年齢	歳	但馬 地域	丹波 地域
備考	↑参加する地域を○で囲ってください			

地域の持続可能性やAIなど新たな技術の到来などで、社会をとりまく環境は大きな転換期を迎えています。これから私たちはどんな環境で生きていくのでしょうか?

これまで数多くの地域に足を運び、また若者と地域のつながりを創られてきた講師 澁澤 寿一氏と、自ら楽しみながら社会をより良くする取り組みにチャレンジしている様々な働き方をしている先輩たち(但馬・丹波地域出身者や1ターン者)とともに、これからの選択肢について考える2日間プログラムです。

同年代、また少し先輩の大人たちとこれからの未来について考えてみませんか?

但馬地域	丹波地域
1日目 8/17(土)	1日目 8/18(日)
2日目 8/19(月)	2日目 8/20(火)
13時30分～17時30分	13時30分～17時30分
豊岡稽古堂 3階 交流室 3-1 (兵庫県豊岡市中央町2-4)	丹波の森公苑 セミナー室 (兵庫県丹波市柏原町柏原5600)

プログラムは裏面をご覧ください。

1日目 『将来について考える視点を学ぶ』

13:30 ~

ガイダンス



14:00 ~

澁澤さんの講演



ワークショップ

感じたこと、質問を共有します



16:00 ~

ふりかえり

地域のこと、これからを考えてみよう



17:30 ~

閉会



講座：『きみたちの生きる時代』

講師：澁澤 寿一 氏



1952年、東京生まれ。1980年、国際協力事業団（JICA）専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴く。帰国後、1983年より循環型都市「ハウステンボス」等の設立に携わり、取締役として、企画段階から建設・運営段階まで経営に関わる。2002年より、林野庁、文部科学省、(社)国土緑化推進機構とともに「森の聞き書き甲子園（現在は、聞き書き甲子園）」を主催し、「森の名手・名人」の知恵を現代の高校生に繋ぐ活動を行い、08年その活動母体として、認定NPO法人「共存の森ネットワーク」を新たに設立。同NPOの理事長を兼任。その後、新環境教育プログラム「豊森（とよもり）なりわい塾」 実行委員長を務め、過疎地に定住する若者の育成を進めながら、多業社会の実現を目指す。そのほか、「真庭バイオエネルギー株式会社」代表取締役、「渋澤事務所」代表（渋澤栄一曾孫）などを務める。



講演後には、質問コーナーもあるので直接、澁澤さんに質問もできます。

2日目 『多様な生き方・選択に触れて、これからを考える』

13:30 ~

前回までのふりかえり・オリエンテーション



14:00 ~

ワークショップ

先輩を大解剖



対談！先輩 × 私達

先輩ゲストに質問や相談？ 沢山してみよう！



16:30 ~

ふりかえり

～どんなことを感じた？～



17:30 ~

閉会

みんなで記念撮影をして修了！修了証をお渡しします。



『多様な働き方の先輩を知る・これからについて考えるワークショップ』

ファシリテーター：川中 大輔 氏
(シチズンシップ共育企画・龍谷大学)



1980年、神戸生まれ。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修士課程修了。高校時代から青少年支援、環境、まちづくり、市民活動支援のNPOに参加し、2003年にシチズンシップ共育企画を設立。全国各地で「市民としての意識と行動力」が育まれる／発揮される参加や学びの場づくりに取り組んでいる。現在、同代表。

2017年から龍谷大学社会学部専任教員に着任し、社会イノベーション実践に資する教育／研究に従事。2019年から放送大学客員准教授。日本シチズンシップ教育フォーラム（J-CEF）運営委員・事務局長、NPO法人神戸まちづくり研究所理事、兵庫県県民生活審議会委員なども務める。

- ・「地元を出て働いている先輩」
- ・「一旦外に出てから地元に戻り働く先輩」
- ・「地域にターンした先輩」など、

様々な働き方・暮らし方をしている先輩をお招きして、高校・大学時代にどんなことを考えていたのか、今どんなことを考えているのか、地域・社会と関わりのながらの生き方・・・などについて、大解剖します。

【登壇予定】

地域に魅力を感じ、地域に移住した先輩
大学等で外に出た後、地域に戻って働きた先輩、
大学等で外に出た後、地域外で働く先輩など4~5名



✎ 昨年度参加されたみなさんの声

・地方にも都市にも良いところ悪いところがあるけれど人や自然に関心を持たないといけないと思った。
・グループで意見を出したり、色々な人の話を聞いて、色々なことに挑戦して、経験をつまないといけないと思った。
(但馬地域の高校3年生)

・色々なことを知って、やりたいことを見つけたり、視野を広げたりしていこうと思いました。自分でも、これからについて考えていきたいです。
(但馬地域の高校生)

・私たち学生では、できることが限られているけれど、地域のために何かしたいと思った。
ex) ごみ拾い、公共施設のそうじ、高齢者の方が住んでいる住宅付近の雪かきなど
(但馬地域の高校1年生)

・講義での人の生き方の違いと価値観の変化という話がとても印象に残っています。
(丹波地域の高校3年生)

・どんな土地でも文化や思いがあり、大切にしなければならぬと思った。コミュニティの大切さを学んだ。
(丹波地域の高校2年生)

・もっと知りたいと思ったことは、澁澤さんが農村で出会ったご老人達の話をもっと聞きたかった。雪のある季節も雪のない季節も年中働き続けることができる元気さには話を聞いていて、とても驚いた。また、草刈りを欠かさずにやっているのは、森と共に生きていくための作法だということがとても印象的だった。
(他県の大学4年生)

・地域でのコミュニケーションの大切さや色々な挑戦をする大切さを学んだ。また、色々な方から話が聞けて、やりたいことが増えた。
(丹波地域の高校生)

・自分の将来の目標である地元の市の職員になるためのプロセスを考えることができ、将来や大学選びへの不安がやわらいだような気がして、また、考えの幅が広がりました。ありがとうございました。
(丹波地域の高校生)

・ワークショップでは、私が思いつかなかったことがたくさん出てきて、地元についてまだ知らないことがあるのだと考えさせられました。
(但馬地域の高校3年生)

・違う世代の人と生き方など、色々なことについて話せたので良い刺激になりました。
(但馬地域の高校生)

・話を聞いて、世界は広く、まだ知らないことがたくさんあるなと思いました。
「知らない」ことに臆することなく、やっていくことは、すごいなと思いました。私もできる範囲で頑張っていこうと思います。
(丹波地域の高校生)

・今日学んだことを忘れず、今後の生活に生かせたらなと思います。
(丹波地域の高校2年生)

・私の家族、村の人たちとのつながりを大切にし、村全体で助け合いながら生活をして行こうと思います。
(丹波地域の高校3年生)

・「持続可能な地域づくり」について全然知らなかったのですが、1日目に概念的なことがわかり、2日目に先輩方の話を聞いて、私の知りたかった地元の内側の内側まで知ることができました。私が気付かなかったことや感じなかったことが分かって楽しかったです。ありがとうございました。
(但馬地域の高校生)

・持続可能な社会をつくる上での地元での課題など、実際にどのように対策をしていくのかなど市政の方々と共に話してみたい。
(丹波地域の方)